和而不同

『紅葉ライトアップ開催』。一体何時ぶりだろうか。そんな響きが散見されるようになってきた。ただ、準備運動なしの全力疾走はケガの元でもある。行動にも〝ほぐす〟間合いを取ることが肝要だろう▼通称「大イチョウ」が佇む西本願寺では、現在「献菊展」が行われている（十一月二十三日まで）。境内白洲に展示された様々な作りの菊の花には、秋の法要「全国門徒総追悼法要」の献花としての意味も込められている▼お仏壇などのお供え（仏花）にはナゼ菊がよく見られるのか。諸説ある理由の一つによれば、《昔は薬用にしたり・食用にしたりと暮らしにとって貴重で重宝されていた、それ程大切なものだからこそ仏さまにお供えしていた》と考えられているようだ▼自分にとって大事なものは、そう易々と手放したくはないというのが本質的な人間の性であろう。所有欲に囚われた先に引き起こされるのは、際限の無い怒り・妬み、そしてさらに強固な所有欲である▼子ども同士によるオモチャの取り合い。その現場を「子どもだからね～」と、俯瞰しているつもりの自分自身を省みることはいつも忘れがちである。〝お供え〟から学ぶべき日常の姿勢は、そのまま心と行動のたしなみに直結するだろう。〔徳〕